

平成 17 年 6 月 8 日

報道関係各位

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA)
CAD 利用技術者試験委員会

～ CAD 利用技術者試験が、より実務に即した試験へ～ 1 級試験が「建築」「機械」の選択制に生まれ変わります!

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (東京都千代田区、会長: 浅田隆治、以下「JPSA」) は、平成18年度より「CAD利用技術者試験」を大幅に改定いたします。

本試験は平成2年の創設以来、延べ約40万人の総受験者を得て、わが国有数のIT関連試験として日本の「ものづくり」の一部を支えてまいりました。しかし、これからのCAD利用技術者育成を考える時、その絶対数の確保とともに、個々の技術者がより「設計者」として専門的かつ実務的な知識を身につけていることが求められています。この時代のニーズに応え、世界に通用する人材を多数産業界に送り出していくことが改定の目的です。

今回の改定では、2次元CADの技能を問う「CAD利用技術者1級試験」を「建築」「機械」の選択制とし、さらにそれぞれの技能を問う実技試験とそれぞれの専門知識を問う筆記試験による試験といたします。これにより、各専門分野を学んできた受験者にとって学習成果を測ることができる試験となるほか、専門性が評価されることにより、受け入れる企業や学校にとっても資格取得の「意義」が明確となり、資格そのものの社会的地位も高まるものと考えます。

一方、2次元CADの知識を問う「2級試験」は、従来どおりの幅広い知識を網羅し専門分野を深く問わない汎用性は継続しつつ、新1級試験への移行がスムーズにできるよう、内容の見直しを行います。

また、平成15年10月より新たにスタートした「基礎試験」は、従来のComputer Based Testing = 「CBT」方式から、Web Based Testing = 「WBT」方式へと試験方法を変更いたします。これにより、「基礎試験」はインターネットに接続されたPCからいつでもどこでも受験できるようになり、CAD利用技術の基礎知識を幅広く評価することに主眼を置く「基礎試験」の受験機会がこれまで以上に広がります。なお、平成15年12月よりスタートした「3次元CAD利用技術者試験」は、これまでどおり3次元利用技術者の基礎的な知識と技能を問う試験として、継続して実施いたします。

時代の変化とともに技術者へ求められるスキルは変化し、そのスキルを認定する試験の変革もまた当然であると、私たちは考えます。CAD利用技術者試験の受験者の皆様、そして合格者を採用いただく企業の皆様におきましては、ぜひとも今回の改定をご理解いただき、当該試験をより一層ご評価のうえ、ご協力賜りたいと存じます。

問い合わせ先

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA) CAD 利用技術者試験センター 担当: 佐藤・熊井
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-2 秀和溜池ビル4F
TEL: 03-5157-0786 FAX: 03-5157-0781 (報道関係者のみ) <http://www.jpca-nintei.com/cad/>

記事掲載に際して一般からのお問合せ先は右記メールアドレスを掲載願います : kaitei@jpca-nintei.com
(注意: 本件に関する一般からの問い合わせは上記アドレスへのメールでのみの対応となります)